



平成30年度 森林・木材関係研究機関による 合同研究成果報告会

目的

宮崎県（林業技術センター、木材利用技術センター）、九州森林
管理局（森林技術・支援センター）及び宮崎大学農学部における
試験研究等の成果を合同発表することで、研究機関の連携促進、
行政機関や林業・木材関係業界等への情報提供を行う。



日 時

平成30年12月20日(木)

13:00～17:00

会 場

宮崎県企業局県電ホール

参加者

宮崎県林務関係機関
宮崎県林業・木材関係業界
九州森林管理局
宮崎県内森林管理署
森林技術・支援センター
森林総合研究所九州支所
宮崎大学農学部



成長に優れる**早生樹**、スギ材の**加工**や**利用**、造林時の**シカ被害**、**タケのバイオマス利用**等に関する研究など、幅広い分野について8つのテーマの研究成果が報告されました。



発表内容

宮崎県 林業技術センター

- 宮崎県へのチャンチンモドキ導入についての検討
- 気候変動がシイタケ子実体の発生等へ及ぼす影響

宮崎県 木材利用技術センター

- 水分非平衡下における枠組壁工法構造用製材の曲げクリープ
- スギ材の外構用利用に向けて

宮崎県 山村・木材振興課

- 担い手不足の中での山づくりを考える

九州森林管理局 森林技術・支援センター

- シカ被害防止対策用単木保護資材(ツリーシェルター)による造林木への成長等に及ぼす調査報告ー第2報ー

宮崎大学 農学部

- 時系列航空写真を用いた伐採面積の推定
- タケ等の未利用バイオマス利用に向けた化学変換と生物触媒としての担子菌の可能性